

東京園芸ニュース (28年度-85号)

平成29年1月 / 群馬県東京園芸情報センター

とちぎのいいモノ発見！ 栃木県のスカイベリーやいちご収穫ロボットを紹介！

「日本橋いちごパーク」

- 期間：1月18日(水)～23日(月)
- 場所：三越日本橋本店 1階 中央ホール
- 主催：三越日本橋本店 協賛：栃木県 協力：農業生産法人(有)いちごの里
- 内容：知事によるいちご王国の紹介、いちご摘み取り体験、栃木県産いちごの販売
いちごおもてなしセミナー「いちご王国 Tea time」等

「いちご王国とちぎ」をPR！

「栃木の農産物」のブランド強化を図るため、いちごを中心とした栃木県産農産物のプロモーションが東京の三越日本橋本店で開催されました。

内容は、「とちおとめ」のプランターを持ち込んでの「いちご摘み取り体験」、宇都宮大学が研究しているいちご収穫ロボット（いちごの可食部に触れないで収穫し、直接容器に収納できる「自立移動型イチゴ収穫ロボット」）のデモンストレーション、「いちご王国とちぎ」やスカイベリーの育成経過等を紹介したいちごミュージアム、自家農園で採れたいちご（スカイベリーや女峰等）など厳選素材を使用したジェラートを提供するいちごカフェ、料理研究家臼井芳美氏が、ホームパーティなどですぐに役立つ旬のいちごの活用術等のセミナー「いちご王国の Tea time」等様々なイベントが行われました。

スカイベリーの大きさに驚きの声！

人の手に触れずにお客様まで届けられる特別容器「フレシエル」に入れたスカイベリーが販売されていました。「フレシエル」は、宇都宮大学発のベンチャー企業「アイ・イート(株)」が開発したもので、イチゴの果皮に触れることなく輸送できる専用容器（大果イチゴ用非接触型個別容器）です。当日は、完熟で60g以上のスカイベリーが1個1,728円（税込）で販売され、来店者は大きさや形の良さに驚きの声をあげていました。

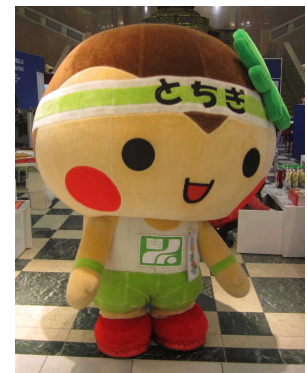
栃木県のいちご品種は「とちおとめ」がまだ主力ですが、H28年産のスカイベリーは栽培面積24ha以上、栽培戸数も240名を超えており、生産量は右肩上がりが増えていくとのことです。



「日本橋いちごパーク」の様子



栃木県のいちごを紹介



栃木県のゆるキャラ
「とちまるくん」



「いちご収穫ロボット」の展示



「フレシエル」入りのスカイベリー